

# 評価・総合実習

## 令和2年度評価実習総括：1期生 (令和3年2月7日～2月25日)

- COVID-19感染拡大中のため5名中2名が実地実習となり、見学メインの実習形態となった。実習後セミナーにおける確認では、断片的な学習になっている状況もうかがえ、指導者との確認を通じて教員からの指導も行った。
- 学内実習においては、模擬症例及びゲスト症例の評価を経験、まとめる作業を行い、適宜教員からの指導を行った。
- 全体的に知識/技術不足がうかがえ、新たな課題となった。
- 実地実習に行った学生は現場での緊張感を感じ、自身の状況の把握につながっていた。

## 令和3年度総合実習総括：1期生

・総合Ⅰ：令和3年4月11日～6月3日

・総合Ⅱ：令和3年6月13日～8月5日

- ・5名中5名が実地実習となったが、一部の施設ではCOVID-19の影響で早期終了等の対応を行った。
- ・長期間の実習にあたり精神的ストレスを抱える学生がおり、指導者との協議を通じて、適宜休養を取らせながら遂行した。
- ・礼節・態度面での指摘を受ける学生がいた。
- ・知識、技術レベルが低いことを指摘される学生がいた。
- ・指導者、対象者、他校学生とのコミュニケーションが困難であり、当該施設における業務への影響がある者については、保護者も併せた複数回の面談及び学内での確認、指導者との調整等を通じ、複数教員で確認、指導を行った。しかし、改善が困難との判断により実習中止となった。

令和3・4年度評価・総合実習

# スケジュール

- 評価実習：令和4年2月6日～2月24日（2月6日・24日は学内）
- 総合実習Ⅰ：令和4年4月10日～6月2日  
（4月10日・6月2日は学内）
- 総合実習Ⅱ：令和4年6月12日～8月4日  
（6月12日・8月4日は学内）

## 評価実習以降の臨床実習の方法

事前セミナー



実地実習



事後セミナー

- 実習施設の役割や機能、そこにおける対象者の抱える問題についての予習
- 学習到達度の確認
- 臨床現場における診療チームの一員として実際の症例に対する作業療法を経験する
- 臨床実習ワークブックによる経験内容の見える化
- 課題の出題  
\* 臨床実習ワークブックは課題シートを使用
- 振り返り・出席表シート
- 学生から大学への自己報告（毎週）
- 経験したこと、学んだことを発表
- 経験した内容の振り返り
- 学習到達度の評価

## 評価実習以降の臨床実習の方法

事前セミナー



実地実習



事後セミナー

- 実習施設の役割や機能、そこにおける対象者の抱える問題についての予習
- 学習到達度の確認
- 臨床現場における診療チームの一員として実際の症例に対する作業療法を経験する
- 臨床実習ワークブックによる経験内容の見える化
- 課題の出題
  - \* 臨床実習ワークブックは課題シートを使用
- 振り返り・出席表シート
- 学生から大学への自己報告（毎週）
- 経験したこと、学んだことを発表
- 経験した内容の振り返り
- 学習到達度の評価

## 評価実習以降の臨床実習の方法

事前セミナー



実地実習



事後セミナー

- 実習施設の役割や機能、そこにおける対象者の抱える問題についての予習
- 学習到達度の確認
- 臨床現場における診療チームの一員として実際の症例に対する作業療法を経験する
- 臨床実習ワークブックによる経験内容の見える化
- 課題の出題
  - \* 臨床実習ワークブックは課題シートを使用
- 振り返り・出席表シート
- 学生から大学への自己報告（毎週）
- 経験したこと、学んだことを発表（症例プレゼン作成・発表）
- 経験した内容の振り返り
- 学習到達度の評価